

令和 7 年度一般選抜 A 個別方式（第 2 期）出題意図

科目名：歴史総合，日本史探究

I

「日本史探究」では，大正期以後高度経済成長期にいたる歴史的経過に対する深い理解を確認するべく，社会経済・文化面を軸に出題した。「歴史総合」では，戦後の東南アジア・朝鮮半島の発展について，日本の支援（＝“戦後補償”）が重要な役割を果たしたこと，冷戦期の国際情勢下で展開されたこと等を関連づけて理解しているかどうかを問うた。

II

版籍奉還から伊藤博文の憲法調査までの政治と社会に関する正誤について問うた。第 1 次山県有朋内閣から貨幣法の制定までの政治に関する正誤について問うた。日韓併合前後の韓国に関する正誤について問うた。明治中期から末期の産業と文化に関する正誤について問うた。

III

江戸時代の理解度を問う問題である。A は武家諸法度を通して，幕藩体制の確立を問うている。B は幕藩体制下における村や都市の実態や特徴を問うている。C は蝦夷地の歴史的展開とともに，18 世紀末以降の幕府による対外政策を問うている。

IV

先史～戦国時代までの理解度を問う問題である。史料 a～c は中国史書を比較して倭の社会変化を問い，史料 d・e の木簡上の墨書から奈良時代の社会と政治の実態を問う。また鎌倉時代の史料 f を読解して平安末～鎌倉時代の政治と社会の変化を問う，戦国時代の史料中の学校から中世文化を考察し，中世社会の変容を問うている。